

各関係機関長 殿

香川県農業試験場病虫害防除所長
(公印省略)

平成23年度病虫害発生予察特殊報第1号の発表について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

平成23年度 香川県病虫害発生予察特殊報第1号

平成23年5月11日
香川県農業試験場病虫害防除所

1. 病虫害名： **キクノネハネオレバエ** *Psila nigricornis* Meigen
2. 発生作物： **ニンジン**
3. 発生地域： 観音寺市、坂出市

4. 発生経過

平成21年12月、観音寺市のニンジン栽培ほ場において、根部に食入被害のあるニンジンの持ち込みがあり、ハエの幼虫の寄生を認めた。平成22年1月には坂出市のニンジン栽培ほ場においても同様なハエの幼虫による被害を確認した。

平成23年1月に、観音寺市のニンジン栽培ほ場において同様の被害を認めた。寄生幼虫を飼育し羽化した成虫を帯広畜産大学岩佐光啓教授に同定依頼したところ、キクノネハネオレバエと同定された。

本種は、ヨーロッパ、北アメリカ、ロシアに分布し、国内では昭和63年4月に兵庫県神戸市で初めて採集され、平成3年に国内最初の記録として発表されている。ニンジンの加害は、平成17年に愛知県で確認され、それ以降、三重県、鳥取県で確認されている。

5. 形態

成虫の体長は約4mm、体色は光沢のある黒緑色、頭は赤黄色、脚は黄色。老熟幼虫の体長は約7mm、体色は黄色味を帯びる。

6. 生態と被害

生態についてはよくわかっていない。ヨーロッパでは、キク科植物の根が本種の幼虫により加害されることが知られている。

ニンジンの被害は幼虫が根部表面近くを横方向に食害する。根の芯部への食入はあまりみられない。

7. 防除上の注意等

- 1) 被害根等の収穫残渣は、ほ場内に残さず適正に処分する。
- 2) 現在、キクノネハネオレバエに登録のある薬剤はない。
- 3) 疑わしい症状が確認された場合は、病虫害防除所に連絡する。



写真1 雌成虫



写真2 老熟幼虫



写真3 蛹



写真4 ニンジンの被害

農薬は使用基準を遵守し、ラベルをよく見て使いましょう。
香川県農業試験場病害虫防除所ホームページ <http://www.jpjn.ne.jp/kagawa/>